

ECBA™ 日本語CBT試験 合格体験記

(日本語オンライン試験)

クラスメソッド株式会社 CX事業本部

持田 徹

受験日: 2022年7月27日

はじめに

2022年7月27日、Entry Certificate in Business Analysis™ (ECBA™)の日本語CBT試験に合格しました。講座でお世話になった株式会社KBマネジメントの清水様にお礼の報告をしたところ「ECBA（日本語）合格者第1号だと思いますので、合格体験記をお書きいただくと嬉しいです」とのお言葉をいただきました。

受験にあたって、IIBA® 日本支部のWebサイトに掲載されている合格体験記を参考にさせていただきました。私の体験が、今後受験される皆様の参考となれば幸いです。

背景

私は、[クラスメソッド株式会社](#)で[受託開発を行うCX事業本部](#)に所属しており、お客様のプロダクト価値を最大化するプロダクト・マネージャーとして、スクラム開発案件をリードしています。

弊社で受託する案件が次第に複雑かつ大規模になっており、それに伴って要件も複雑になっています。また受託したシステム開発を成功させるだけでなく、開発したシステムがお客様のビジネスや、それを利用するエンド・ユーザーにどのような価値を提供するのか、さらにお客様の組織改革など、さまざまな視点で検討する大切さを痛感する機会が多くありました。

その中で、要件定義の内容が重要なポイントなのではと考えるようになり、IPAによる[『ユーザのための要件定義ガイド 第2版 要件定義を成功に導く128の勘どころ』](#)を参考にしたりもしました。そんな時、上村有子著・技術評論社刊[『図解即戦力 要件定義のセオリーと実践方法がこれ1冊でしっかりわかる教科書』](#)を購入し、この中で International Institute of Business Analysis™ (IIBA®) による *Business Analysis Body of Knowledge®*ガイド (*BABOK®*ガイド)が紹介されていたことで、それを調べていく過程でビジネス・アナリストの資格の存在を知ることになりました。

受験までの手順概要

受験までの手順は、英語で受験する場合と同じです。試験は日本語ですが、英語で行う作業もあります。

1. [IIBA® Webサイト](#) でアカウントを作成
2. 21時間のProfessional Development (PD) を行う
3. 出願料の支払い
4. 21 PDの記録を登録
5. 受験料を支払う
6. PSI Online で受験日時を予約する
7. 受験

受験対策

1. ECBAオンライン試験対策講座の受講

株式会社KBマネジメントの「[ECBA日本語試験対策オンラインコース](#)」を受講しました。

- 事前に『ビジネスアナリシス知識体系ガイド(BABOK® ガイド)Version 3.0』を購入しました
- Zoomを用いたオンラインコースのため、大阪在住の私も受講することができました
- BABOK® の要点や、実際の事例と結びつけた考えなどを分かりやすく講義いただきました
- プリテスト、章末問題を多数用意していただいているので、問題の雰囲気がよくわかりました
- IIBA® Webサイトでの受験手続きの方法や、受験日の注意点などを丁寧に解説いただきました
- ECBA試験はPSI Onlineでのみ受験可能と教えていただきました
- 本人確認書類として、実績があるのはパスポートのみと教えていただきました
- 受験までの間も、模擬試験問題を多く解いて、間違えた問題をメモしてBABOK® で確認するプロセスを繰り返しました

2. 全体像をつかむ

対策講座を修了した私には、BABOK® の知識エリアや基礎コンピテンシーを実際の案件でどう活かすのか、具体的なイメージをつかみたいという思いがありました。そのイメージがあれば、BABOK® の抽象的な記述に関する理解も進むと考えました。

そこで、受験のためのパスポートを申請してから発行されるまでの期間に、IIBA®日本支部 BABOK®研究会による『[よくわかるビジネスアナリシス: BABOK®の心](#)』を読みました。

前半はBABOK® の基礎的な内容が記載されていて復習になりますし、後半は、実際の事例に基づいた解説が行われています。ECBA試験では、BABOK® の「第6章 戦略アナリシス」と「第8章 ソリューション評価」は範囲外ですが、それらも含めた実例を読むことにより、具体的なイメージをつかむことができましたと思います。

3. 問題集を解く

対策講座で多くの模擬試験問題を用意していただきましたが、他の問題も解くことにより、より多くの視点を得たいと考えるようになりました。[Udemy](#)で模擬試験を検索し、以下の試験を解きました。

1. [ECBA- Practice exams - Entry level of IIBA Certification](#)
2. [IIBA ECBA Business Analysis Certificate - Practice Test 1](#)
3. [IIBA ECBA Business Analysis Certificate - Practice Test 2](#)

これらは、英語で模擬試験が提供されているため、Google Chromeのウェブページ翻訳機能を使って最初に日本語で問題文と選択肢を読み、機械的な翻訳で意味が取りづらい箇所は原文表示に切り替えるなどの工夫をして、問題を解いていきました。この時は、効率の悪い問題の解き方をしていると思っていましたが、振り返ってみると、この時の経験が本番で役に立ったように感じています。

これらの模擬試験を受験し回答を見直すことで、今まで大まかにしか理解していなかったBABOK® の、より細かい箇所を確認する機会を得ました。他方で、試験範囲外の知識エリアや専門視点から出題されていたり、基礎コンピテンシー、テクニックの枝葉末節が出題されたりと、いろいろな課題のある模擬試験もあり、それらを受験した結果については、あまりを気にする必要はないのではと考えます。

4. 受験場所の確保

IIBA® のWebサイトから日本語でダウンロード可能な『IIBA® オンライン監督試験体験ガイド』にも記載がある通り、受験する部屋および作業スペースには、様々な指定があります。普段は自宅でリモートワークしており、設備も揃っているため、最初は自宅での受験を検討しました。しかし、自宅でこれらの指定を満たすことは困難と考え、勤務先の会議室を受験用に確保しました。受験する時間帯に、誰も会議室に入らない工夫が必要です。

5. 機材の準備

同じく『IIBA® オンライン監督試験体験ガイド』に記載があり、また[PSI Webサイトの動画](#)で確認できますが、受験当日は受験を行う部屋や作業スペースをウェブカメラでスキャンしたり、受験者本人の顔や「政府発行の写真付き身分証明書(=パスポート)」を撮影して提示したりする必要があります。

『IIBA® オンライン監督試験体験ガイド』には、ウェブカメラについて「機能していて、試験に利用できなければいけません」とだけ記載がありますが、私が受験に利用した13インチMacBook Pro(M1、2020)の内蔵カメラでは、これらの作業を実施することが難しいと考え、家にあった[IPEVO V4K PRO 超高解像度 USB 書画カメラ](#)とUSB Type-C-USB Type-Aの変換アダプタを持参し、外付けして使用しました。これで、部屋や作業スペースのスキャン、顔写真やIDの撮影を安定して行うことができました。安定して撮影可能な外付けのウェブカメラは必要だと考えます。

受験当日

1. 試験開始前

『IIBA® オンライン監督試験体験ガイド』には「(試験当日は)予定時刻の15分前までに着席してください」と記載されていますが、合格体験記や対策講座などで「試験開始の30分前にPSIのWebサイトにログイン」との知識を得ていたため、30分前にログインしました。

試験前に、PSIのWebサイトで提供されている[システム互換性チェック](#)を何度も実施して問題ないことを確認していました。しかし、当日にインストールしたPSI Secure Browserのプロセスチェックで、会社貸与マシンのモバイルデバイス管理システムがNGとなり、これがユーザープロセスではなかったため、かなりの作業が必要となりました。この点については『IIBA® オンライン監督試験体験ガイド』に「互換性チェックに合格したからといって、必ずしも試験時間中に問題が発生しないことを保証するものではありません」と記載されている通りかと考えます。

システムチェック通過後、顔写真や身分証明書、作業スペースの静止画・動画撮影とアップロード、英語のオンライン・チャットでの指示に従って再撮影や質問回答を行いました。

結局、ログインから受験を開始するまでに1時間程度必要でした。あまりに時間がかかったため、途中チャットで「まだ試験を受けることができますか？」と聞いて、できますよと回答をいただいた時はホッとしました。試験を予約する際には、後ろに余裕を持ったスケジュールがよいと考えます。

2. 試験中

『IIBA® オンライン監督試験体験ガイド』に記載がある通り、試験中はウェブカメラとマイクで監視されています。初見の問題も多くありましたが、フラグを立てるなどして繰り返し検討し、すべて回答することがいいと考えます。私の場合は、1時間の間で3回見直しを行いました。

試験が終了すると、すぐに画面に結果が表示されます。結果部分が強調されていないので、日本語をよく読む必要があると思います。

3. 試験結果

試験結果について、『IIBA® オンライン監督試験体験ガイド』には「2 営業日以内に、試験成績の概要と次に必要な手続きが記載された電子メールが IIBA から届きます」と記載があります。私の場合は、試験後の後片付けを終えると、次々とメールが届いていました。

さいごに

晴れてビジネスアナリストの仲間入りをすることができました。これから、BABOK® で得た知識を実案件で活かして、より価値のあるシステムを提供できればと思います。

ECBAの対策講座で丁寧にご指導いただいた株式会社KBマネジメントの清水様、講座を受講しECBAを受験する機会をくださり受験当日もサポートしていただいたクラスメソッド株式会社の皆様、講座受講中、試験勉強中、試験当日に色々と配慮し支えてくれた家族に感謝します。

－ 以上 －